

ふれあい新聞

第45号 平成10年1月1日 一田中野田町内会一



平成10年(1998)元旦



三代交流こども餅つき大会

三代交流行事のひとつとして、「こども餅つき大会」が、さる12月14日(日)、辰巳西公園で行われました。これは昨年に続いて2回目で、当日は快晴に恵まれ、おおぜいの父母や老人会の方々も参加され、とても賑やかでした(写真)。

新年を迎えて

町内会長 和氣加太志

平成10年の新春を迎えるに当たり、心より新年のご祝詞を申し上げます。本年も相変わリませずこの上ともよろしくお願ひ申し上げます。

旧年中は、運動会、夏まつり、クリーン作戦等すべての行事が、予定通り盛會裏に大過なく終わることができました。これもひとえに町内の皆様のご協力によるものであり、役員一同深く感謝しております。本日に有り難うございました。

近時田中野田を取り巻く環境は、極めて厳しいものがあります。今年も解決を迫られている問題が幾つか持ち越されております。

市当局の話によりますと、田中野田の土地区画整理事業は、平成10年度末に完了するとのことであります。長年月をかけた大工事だけにそのこと自体は喜ばしいことであります。しかし、いわゆる50メートル道路のすべての土地は、区画整理方式により私ども地権者が無償で提供したものであります。したがってこの道路が完成しない限り、区画整理は終わったことにはならないのであります。50メートル道路を放置したまま、区画整理を終わることはできないのであります。地元として平田、田中地区のように、片側一車線だけでも部分開通するよう関係当局に、陳情を繰り返しているところであります。

御南大橋(笹が瀬川に架橋工事中の橋)も、市当局と地元との間で平成8年度末には必ず全面開通する約束になっておりました。しかるに一方的に約束が破棄され、人と自転車の通行は平成9年度末までに、車は平成10年度末までということになりました。

その他の問題としては、笹が瀬川の改修、消防署の出張所の設置等懸案の課題があります。これらの問題の早期実現を目指して今後とも微力を尽くして参りたいと思ひますので、ご協力の程よろしくお願ひ致します。

花づくりの効用について

町内会副会長 和氣 健

最近、我が町内に花づくりを楽しんでいる人が、急に増えつつあるように思ひます。各家庭の庭先や玄関前に、花が美しく飾られた景観に接すると、その優しい人柄をあらわしているようで心が和らみます。

町内でのこの流れは、全国的な園芸ブームの延長かもしれませんが。昨年町内に結成された婦人有志による、「花づくりクラブ」が行っている公園の花づくりによる美化や、フラワーボットによるゴミステーションの美化など、ボランティア活動が熱心に行われています。これらのこと

も、今の状況を作り出すきっかけになったのではないかと思います。

一般にはあまり知られておりませんが、園芸作業から得られる効用は古くから認められております。アメリカなどでは、精神の安定や発達、社会生活能力の向上、自立心や生きがい、プライドの創出といった面から科学的に研究され、園芸セラピー(療法)として広く利用されているようです。

むつかしい理論はともかくとして、花や野菜づくりは健康づくりに効果的で、元気で長生きにつながる作業だということでありましょう。

私事ですが、公園緑地行政にたずさわるようになり、ある程度の知識を持たなければという気持ちになって、以前から女房がやっていた園芸を積極的に手伝うことにより、知識の修得に努めているところ。お陰で我が家の庭先には、思いつくまま、気の向くまま、草花の鉢が所せましと並んでおります。技術力も不足し、管理も行き届かず、いいものはできておりませんが、もう少しいいものを作って、人目に触れる場所に飾れるようにしたいと思っております。

町内のあちこちに草花がたくさん植えてある風景は、その町内の強いコミュニティ意識のあらわれであり、住民がその町を愛し、誇りに思ふ心の証しだろうと思ひます。だれに強制されるでもなく、無理なく、自然に育ちつつある今の流れを大切にしたいものです。そして家々の庭先の花は道沿いへ、さらに町中へとあふれ出す、花いっぱい町の実現もあながち夢ではないのではと、大いに期待しているところで。

第1回 御南西公民館文化祭に参加して

上野山 信一

去る11月15、16日の2日間、西公民館において文化祭が実施され、私は社交ダンスと写真の部に参加しました。好天に恵まれ、開会と同時に大勢の地域住民の方々が見物に來られ、たいへん盛會でした。

展示の部では、手芸・書道・生花等の作品が多数出品され、見物の人々の間から、アレッ! あの人がこんな作品を、といった声があちこちから聞かれ、和やかな雰囲気につつまれていました。

実技発表の部では、ダンス・日本舞踊・コーラス等のほか多種で、日頃の練習の成果を十分に発揮され、参加者一同充実感を味わった次第です。

文化祭の期間を通じて感じたことは、女性パワーに驚かされました。世の男性も奮起して頑張ろうじゃありませんか。